

# 愛に、沈む

## Erwin x Levi

Attack on Titan unofficial fanbook #5



Presented by SABA (SABA-KAN)









何やってんだ  
てめえ…

見ての通り  
シャワーを支払いに

…てめえは私室に  
ご立派な風呂が  
あるだろ  
ええ、団長さまよ



私だつてたまには  
共同風呂も利用するよ

ここは広いしね

それから



エルヴィン、と

…ハツ、馬鹿か  
くだらねえ



まだ団長ではない  
正しい階級名で  
呼んでももらえ  
ないかな？

でなければ  
名前でも  
構わないが

…ああ？



お前こそ  
なぜ自室の  
シャワールームを  
使わない？

潔癖なお前には  
この共同風呂は  
苦痛だろうに

俺の部屋のシャワーを  
使うのが  
嫌だというから

団長に掛け合ってまで  
わざわざお前を  
シャワー付きの部屋に  
してもらえよう  
申請したのに

大体

…どこの風呂を  
使おうが  
俺の勝手だ

リヴァイ





...避けてねえよ



ここ二週間ほど  
俺を避けているな



だったらなぜ  
俺の部屋に  
来ない

毎晩とは  
言わないが

公休日の前夜は  
部屋に来て欲しいと  
言っただけだ  
が



...何か  
来たくない理由が？

いや

来れない理由、かな

...そんなものはねえ

最近ミケとよ  
一緒にいるぞ





それに



お前はきつと  
背の高いがっしりした  
男に憧れるのだろうと

てめえ…  
喧嘩売ってんのか

はは  
まさか



ミケは優しいだろう？

ちよつと変わった  
ところもあるが

あれで意外に  
気が利くし  
寡黙で男らしい

この調査兵団で  
現時点では  
実質ナンバーワン  
の  
実力者だ

本当だよ

別に悪いことじゃないし  
卑下することもない

自分自身にはない要素に  
惹かれるのは  
ごく自然な行為だ



ミケと寝たのか







やはり事実か



ひい

…チツ

…!

…また俺を見張って  
いやがったのか



寝ける？

そんなことは  
しないよ



…だとしたら何だ

…俺を寝けるのか  
昔やったみたいにか





…なんだと？



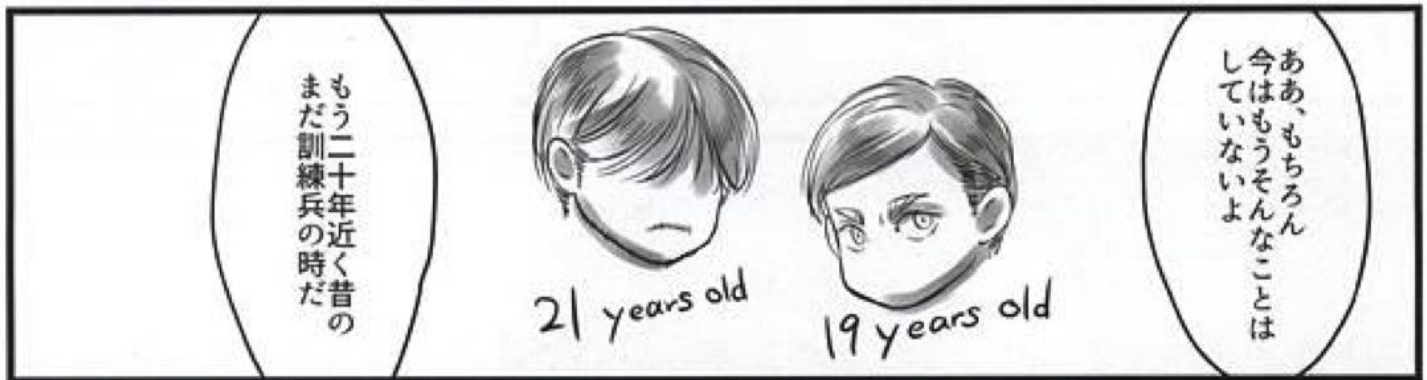
昔

ミケとは  
寝たことが  
あつてね



若  
ついの  
気にも  
ないし

わざわざ娼館へ  
行くのも億劫で



ああ、もちろん  
今はもうそんなことは  
していないよ

21 years old

19 years old

もう二十年近く昔の  
まだ訓練兵の時だ



若気の至りや  
興味というのに近い

男とするのも  
肉体的快楽という観点からは  
意外と良いものだという  
新たな発見があつたしね

手近で済ませるのに  
お互い利害が  
一致したというだけだ

ミケ以外にも  
何人かと試したよ  
もちろん両方試した



それに

女性はもちろん  
素敵だけど

俺は昔から  
結婚願望というものが  
なかったし

女性と  
付き合うとなると  
面倒なこともあるし

何より  
避妊も確実にしないと  
いけないから

……このゲス野郎

ものは言いようだね

未知の事象に  
好奇心が湧くのは  
至極自然なことだし

何事も  
まず経験が必要だ

百聞は一見に如かず、だよ

だから



男がどこをどうされたら  
強い快楽を得られるのかは  
これでも熟知している

でも  
その中でも  
お前は最高レベルの  
身体だ

男にしてお人には  
惜しいほどに

締めりが  
素晴らしく

ほどよく溶けて  
絡んで離さない

内臓の防衛反応も  
人よりも  
敏感なのだろうが

黙れ…

膣液の分泌も  
多かったね

中がぬるぬるで  
奥まで入れると  
とても気持ち良かった

まるで俺のために  
愛液が溢れていた

やめろ！

あの夜のお前は  
とても可愛かったよ

やめろ…

キィ…







前立腺と精囊を  
中から突き潰して  
やろうかと思つたよ

こっちに来るな

おい、やめろ

そこを突きまくつたら  
泣いて喘いで  
いたじゃないか

これに散々貫かれて  
結腸まで俺の  
侵入を許して

それ以上  
近づいたら...

!!!

しっ

!

誰か来る

んん...!

知られても  
いいの？

私は構わない

お前に  
近づこうとする人間を  
確実に諦めさせられる

無駄な努力に  
早く気付いてもら  
んと身体を使う無






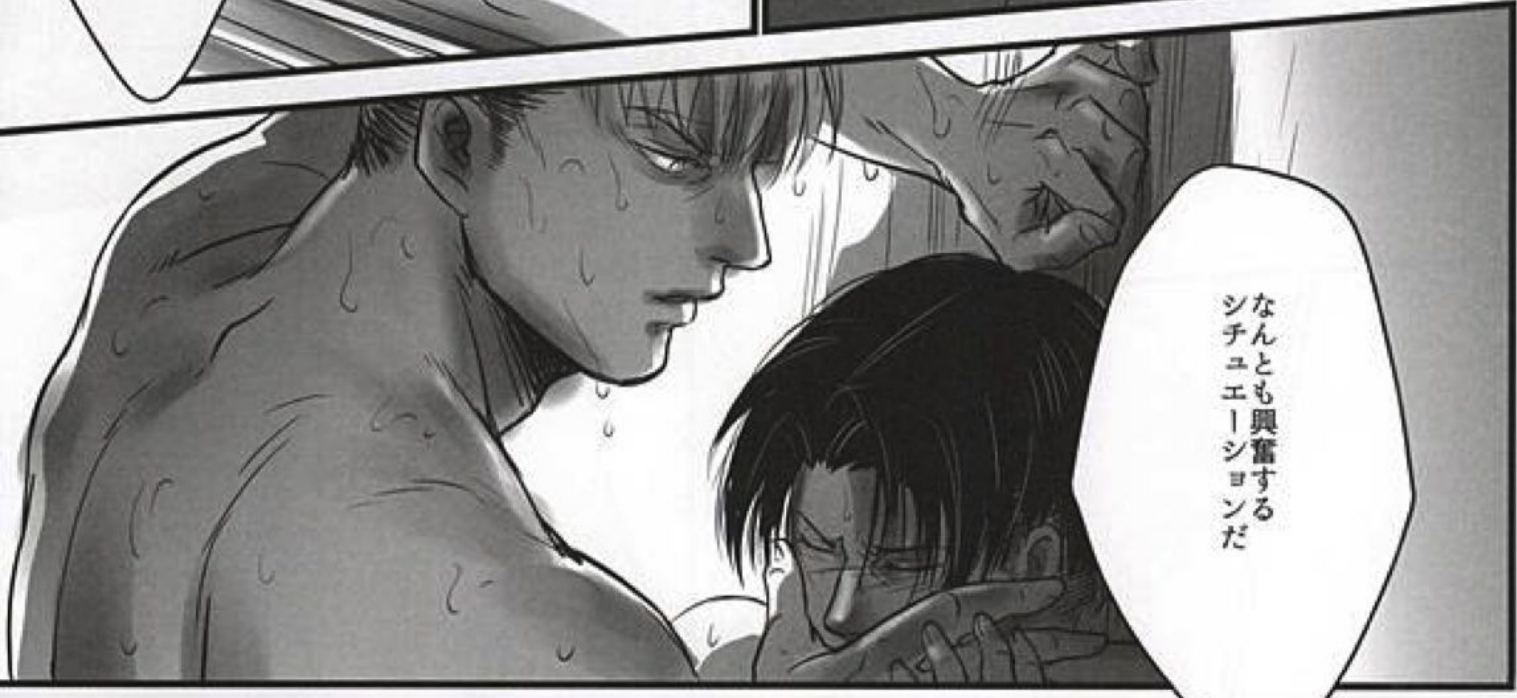
あれから二度目だな




まだ二度目なのに



ベッドの上ではなく  
シャワールームとは



なんとも興奮する  
シチユエーションだ



気絶するほど  
良くしてやろう





お前…会議を欠席して  
どこに行ったかと思えば…

…エルザイン？

………

誰…他にも  
かいるのか？

…  
や

ハッ

ハッ…

ハッ…

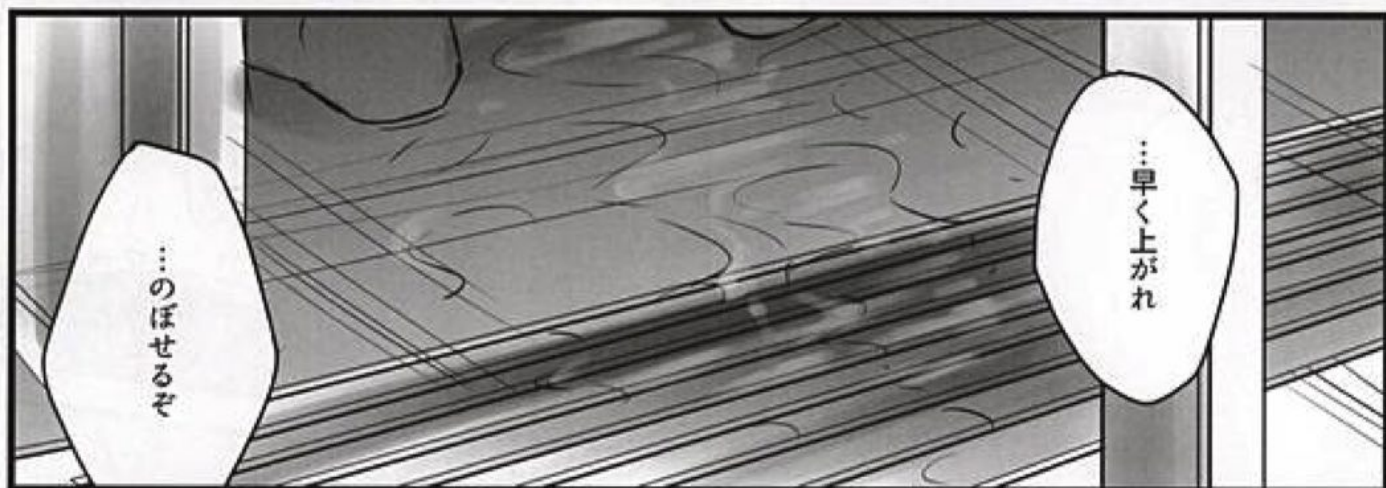
ガキヤ





俺だけだ

ネズミ一匹いないよ



早く上がれ

のぼせるぞ



ヘルツァイン



早々に切り上げる









男の精気を  
文字通り吸い取る  
稀有な身体だな

これと交わると  
もう女では  
満足できなくなりそうだ



処女でも  
こんな具合は  
良くないだろう



…会議の後

キース団長が  
これから  
湯浴みに行く  
言っていた



俺のためだけの  
体にしたくなる





鉢合わせする前に  
出たほうがいい

不審に思われると  
面倒だ

ミケ



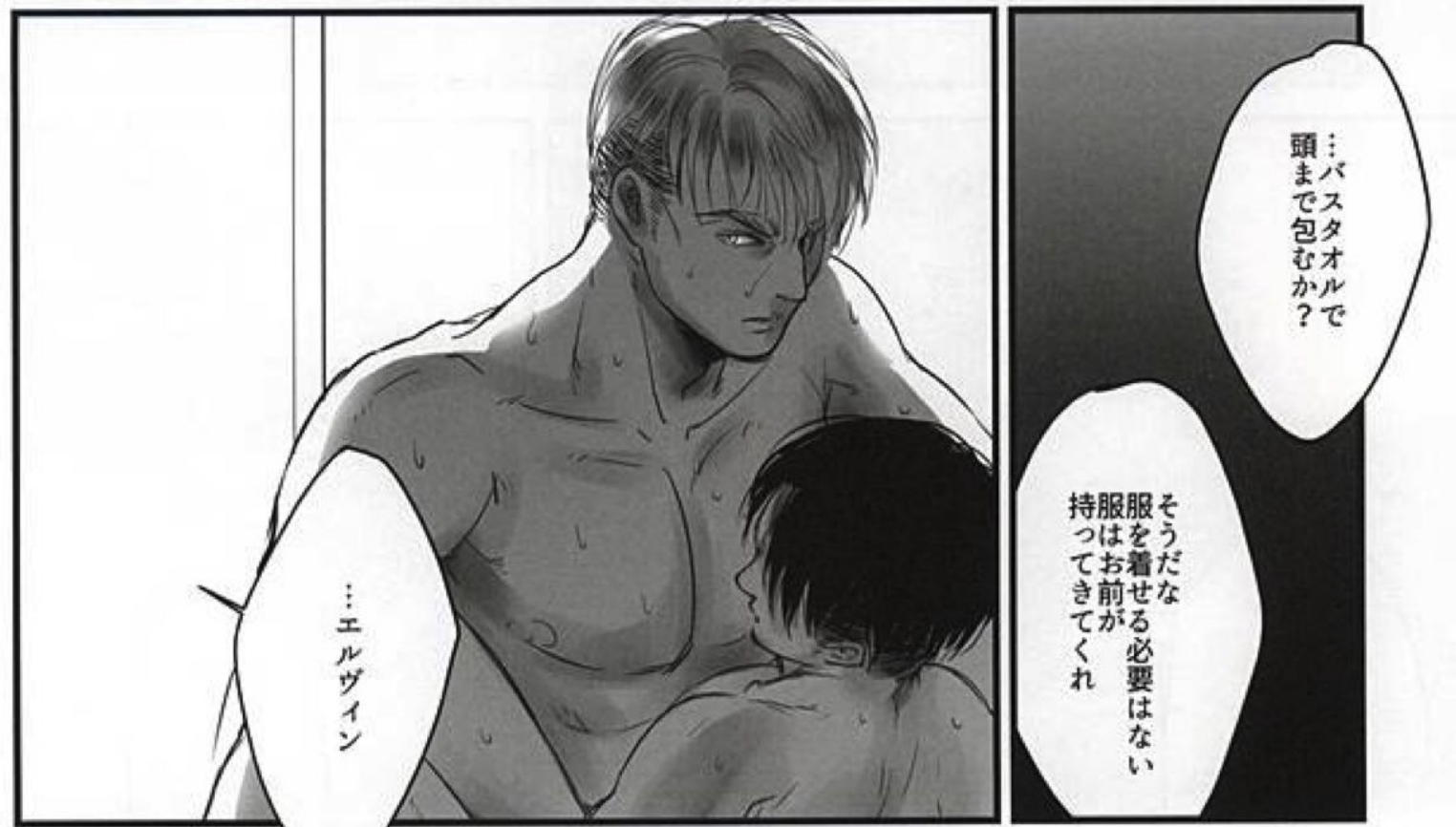
リヴァイを  
私の部屋に運ぶのを  
手伝ってくれないか

ズズズ...

ドロ...

手間取って  
他の人間に  
見つかると厄介だ

.....  
分かった



...バスタオルで  
頭まで包むか？

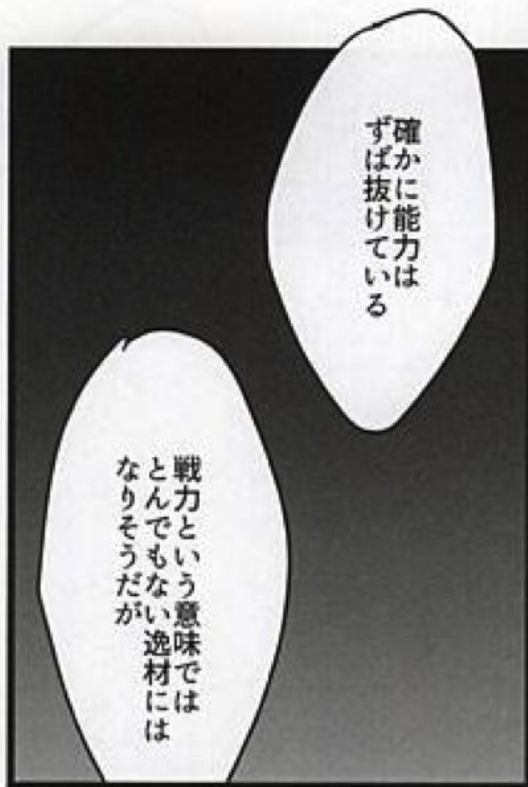
そうだな  
服を着せる必要はない  
服はお前が  
持ってきてくれ

...エルズイン





お前は少しこいつに  
執着しすぎている  
ように見える



確かに能力は  
ずば抜けている

戦力という意味では  
ほとんどない逸材には  
なりそうだが



あまり入れ込み  
すぎないように  
気をつけろ



雛鳥が一人前になって  
巣立つ前に  
潰れてしまう



…ミケ





なんとしても  
今のうちに  
いち調査兵として  
心身を確立させたい

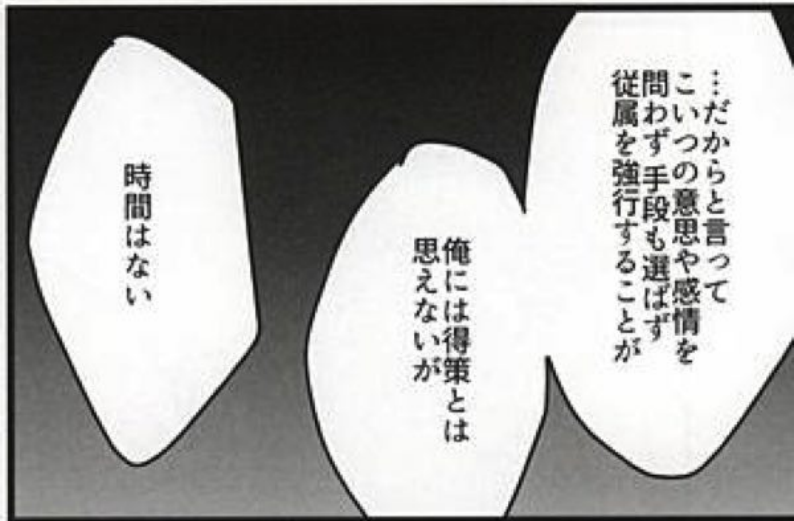


これは兵団の…

いや人類の  
未来のためにきつと  
不可欠な存在になる



…お前は個人的に  
こいつが  
欲しいんだろう？



…だからと言って  
こいつの意思や感情を  
問わず手段も選ばず  
従属を強行することが

俺には得策とは  
思えないが

時間はない



お前の愛執は  
いつも気狂いじみている



『誰にも  
取られたくない』

『誰にも  
渡さない』

自分の知識や理解の  
範疇に入れないものを  
それと似ているんだらう

サッ...

コッ

……ミケ

『たとえ  
二十年來の  
親友腹心たる  
お前でも』

『……ミケ』

……おん

……いるか

セッ...



こいつも  
エルヴィンに  
惹かれ始めてるー

…リヴァイ？

…お前が  
俺の部屋に  
来るなんて  
珍しいな…

…おい…ミケ…

…あの金髪は…  
お前の…何だ…

…金髪？…もしかして  
エルヴィンのことか？

…あの野郎以外に  
誰がいる…

いや…  
…俺やナナバも  
金髪だろ…

…何、とは？

…チツ…いつも…  
一緒にいるだろうが

…俺をとっ捕まえた  
時だつて…  
お前はあいつの  
命令に忠実だった

…別に何という  
こともないが…

…エルヴィンは  
第1分隊長で  
俺はあいつの  
隊の副長だ

あいつの命令  
従うのは軍務  
当然のことだ





…エルヴィンのことが  
気になるのか？



もつとも…  
あいつは総統府から  
次期団長の内示を  
受けるのも時間の  
問題だろうから

近いうちに  
第13代団長として…



…くそっ…  
俺だって好きでこんなこと  
聞きたいわけじゃねえ

…ハンジめ…

…リヴァイに  
余計なごときを…



…ここは男が  
多い軍生活だ

別に男同士で  
どうこうという  
ことも珍しくはない



…あのな  
リヴァイ



…あの野郎…は…  
お前を好きなのか

…は？

…クソメガネが…

…あの金髪野郎とお前は…  
昔…そういう仲だったと



性欲処理で  
割り切った関係  
だってある

……

……性……欲……  
処理……

……  
……エルヴィンと  
何かあったのか？

……

……言いたくないなら  
別にこれ以上は  
聞かんが

……あいつは頭が  
キレるあまり  
少しばかり  
ぶっ飛んでいる  
ところもあるが

あの頭脳と  
先見の明は本物だ

お前を兵団に  
連れてきたことも  
そうだ

……

……ああする以外に  
方法がなくして  
手段を選ばず

お前や  
お前の友人らには  
……手荒なこともしたが

……いや……今は  
それは……ともかく……

……あのなりヴァ、



男同士でも普通に  
キスくらいできる  
だろう

エルヴィンと俺は  
何でもない

お前が心配している  
ようなことはない

いつからかを境に

取り越し苦労で  
いらんことを  
悶々と悩むのはよせ

……もっそも

エルヴィンと  
俺の場合は、  
という意味だ

……

エルヴィンの  
体からは

リヴァイの匂いが  
するようになったが

なっ……  
誰が……!

！っ……

あいつは  
お前に夢中だ

安心しろ

おそろく  
エルヴィンから





お前のことは…  
…悪くねえな…



……



いい奴なんだろう  
なと思う

お前は…ちよつと  
変わってるが…



遅くに  
邪魔したな…



…い、いきなり来て  
変なことを聞いて  
悪かった

ああ…クソツ…  
俺は何言ってるんだ…



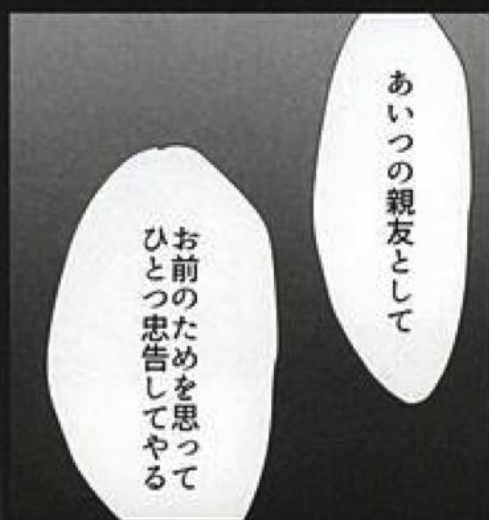


何す...



...







エルヴィン  
お前の博打は  
もはや確信に等しい

雑鳥は近い将来

人間違いなく  
人類の大翼と  
なるだろう

…金と黒のつがいが  
寄り添うか

それも悪くない  
だろうな

…ただ  
今だけでも



